

#### プロジェクト研究 4

『「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した教育実践の在り方』

(1年目)

担当：小島道生（附属学校教育局）・丹治敬之（附属学校教育局）

#### 【構成】

教育局 2名、関谷文宏、小針昇平（附属中学校 2名、附属高等学校 1名、附属坂戸高等学校 1名、附属大塚特別支援学校 7名、附属桐が丘特別支援学校 2名

#### 【研究の趣旨と目的、研究の経過】

GIGA スクール構想に伴う ICT 環境の整備、インクルーシブ教育の推進など、学校教育を取り巻く状況が大きく変化するなか、本プロジェクトでは、附属学校や附属学校群としての取り組みから、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した教育実践の在り方を追求していく。加えて、障害のある子どもの学びを豊かにするための学校における事前的改善措置、合理的配慮についても検討していく。

なお、本プロジェクトは、3か年計画で実施し、筑波大学の研究者や附属学校の先生方だけでなく、学外研究者などとの連携も試みていく予定である。理論的な学びとともに、実践的な知見を整理・分析する機会、さらには研究成果の学術的な公開と社会的な還元を目指して、プロジェクト研究を展開していきたいと考えている。

本年度は、オンライン会議により意見交換を行った。また、次年度に向けて全附属学校の教師を対象としたアンケート調査の作成に試み、倫理審査にて承認をされた。

#### 【令和6年度において得られた成果】

・令和6年度は、3か年計画の1年目ということで、メンバーとプロジェクトの目的などを共有するとともに、今後3か年の取り組みなどに検討を行った。そのなかで、附属学校を対象としたアンケート調査の実施について計画が提案され、アンケート調査用紙を作成し、倫理審査において承認された。また、Teams を立ち上げ、メンバー相互の情報共有、意見交換の場として活用を試みた。

#### 【令和7年度に向けた課題】

・次年度以降、令和6年度における倫理審査で承認されたアンケート調査を実施するとともに、新たな実践研究などについて検討を行っていく予定である。また、これら研究成果の公開についても、取り組んでいく。